



主な内容 No.1264

- 版の上の雲ミュージアム 企画展 テーマ展示…10面
- 松山市のまちづくり債発行……………3面
- ごみカレンダー配布……………3面
- 市民ガイド……………5~9面

救急病院当番表(3月)を9面に掲載しています。

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/
 一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山

一歩踏み出す 勇気を!

小学生 救命講習で命の大切さ学ぶ



指示に従い、AEDの電極パッドを装着

和気小学校で1月16日、救命講習が行われ、6年生112人が参加しました。講習は倒れている人を発見したときを想定して始まり、呼吸の有無の確認、救急車などへの通報の仕方、他の人も助けを求めること、胸骨圧

災害予防や人命救助に一歩踏み出す「強い心」を育て、命の教育の一環として小学生を対象に、災害に対する心掛けや災害発生時の対処法などを学習する防災教育や、心肺蘇生法・AED(自動体外式除細動器)の取り扱いを学ぶ救命講習を行っています。本年度中に、市内全ての小学校で防災教育または救命講習を実施する予定です。

迫による心臓マッサージなど、児童は救急車が到着するまでの応急手当てを学びました。またグループに分かれ、人形を使って、心臓マッサージやAEDの取り扱い方法を体験しました。講師を務めた中央消防署の救急救命士は災



講師の話熱心に聞く児童

害や事故現場での体験を交えながら、心肺停止から救急車が来るまでの間に心臓マッサージをする、救命率が上がることを説明し、万一の場面に遭遇したときの「一歩踏み出す勇気」の大切さを訴えました。

命を大切に

心臓マッサージをすると、生きられる確率が高くなることを学びました。家族にも伝えて、これからも命を大切にしたいです。

吉川 隆宏くん

保存してください。いつかまた お役に立ちます

お問い合わせは、(消)予防課 ☎926-9245 ・ ☎926-9163へ

読者プレゼント

大八木淳史さんのサイン色紙を抽選で3人にプレゼント

応募先 〒790-8571 広報課「大八木淳史プレゼント」係
 はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙への意見を書いて、2月28日(金)(必着)までにお送りください。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

子どもたち一人一人との出逢いを大切に、さまざまなことを投げ掛け、お互いに何かを感じて成長していきたいと思っています。結果が出るには何年もかかりますが、子どもたちの将来の仕事や社会貢献活動につながってほしいです。また子どもたちを指導する立場の人には、自分自身のリフレッシュや生きがいのためだけにではなく、まずは子どもたちのため、という原点を忘れず、子どもたちと向き合っていくってほしいです。

—市民へのメッセージを—
 松山は温暖なところで歴史的な素晴らしいところ、とてもいい街だと感じています。松山に住んでいることへの誇り、豊かさや恵みへの感謝の気持ちを大切に、等身大の松山の良さを大切にしてほしいです。

出逢い・経験から広がる可能性

—指導する際、心掛けていることは—
 子どもたち一人一人との出逢いを大切に、さまざまなことを投げ掛け、お互いに何かを感じて成長していきたいと思っています。結果が出るには何年もかかりますが、子どもたちの将来の仕事や社会貢献活動につながってほしいです。また子どもたちを指導する立場の人には、自分自身のリフレッシュや生きがいのためだけにではなく、まずは子どもたちのため、という原点を忘れず、子どもたちと向き合っていくってほしいです。

—松山の印象は—
 『坊っちゃん』や道後温泉が印象深いですね。街中でふと見上げると松山城を眺められるのも、魅力的です。

—ラグビーを通して学んだことは—
 僕の現役時代、ラグビーというスポーツはプロではなくアマチュアスポーツだったので、人生の10%という位置付けでしたが、多くの友人や経験を得ることができ「たかがラグビー、されどラグビー」だと感じています。子どもどものときに、スポーツや部活動など学級とは異なる組織に所属していると、社会に出ていく上で大切なことをたくさん経験できます。けがで1シーズンを棒に振ったり、自分が出ない試合を外されたりといった不条理や理不尽、不平等だと感じることも経験しましたが、自分なりに精いっぱい努力することは、将来、何かの壁にぶつかったときに役に立つ可能性を秘めています。

こんにちは松山

元ラグビー日本代表選手
 おおやぎ あつし
 大八木 淳史さん

1961年生まれ。京都府出身。高校時代にラグビーを始め、大学では大学選手権3連覇、社会人では7年連続日本一に貢献。97年現役を引退。現在は芦屋学園中学校・高等学校の校長を務めるなど、スポーツの普及と青少年育成に取り組んでいる。